



## 学生の学びを地域で生かす取組

京都市  
東山区

華頂短期大学  
介護学科

### 【活動場所】

京都市東山区

### 【活動目的・背景】

- ・様々な地域課題に対して大学の知恵を活用し、コミュニティの中核的存在として地域の変化と発展に寄与する。
- ・「介護」について様々な角度から学んだ学生が、習得した知識や技術を地域活動を通じて実践することで、新たな気づきやコミュニケーション能力の向上を図る。

### 【取組概要】

華頂短期大学介護学科の1・2回生の学生が、数年前から教員と協働してゼミの時間などを利用して様々な地域連携活動を実施しています。

- ①華頂サロン・・・大学の近くにある古川町商店街の空き店舗を活用し、地域の方々とのコミュニケーションやハンドマッサージを実践
- ②古川町商店街門掃き隊・・・ゼミで交代しながら商店街を定期的に清掃
- ③東山区民ふれあい広場への参加・・・介護学科にてブース出展し、タクティールケア等を実践

### 【成果・今後の課題】

各活動への学生の参加の動機は様々だったが、大学の授業の場から離れて仲間や友人、大学の教職員と一体となって催しに参加したことで、一人ひとりが何らかの変化や学びを実感できた。「地域への貢献」と「私たち学生の学び」を同時に達成でき、有意義であった。



### 【本取組に関するお問合せ先】

京都華頂大学・短期大学 地域発展活性化センター

Tel : 075-551-1188 (代)

Fax : 075-551-1620

E-mail : [soumu@kyotokacho-u.ac.jp](mailto:soumu@kyotokacho-u.ac.jp)





## 子供たちと学生との長期的な交流事業

京都府  
宮津市

京都華頂大学・華頂短期大学  
学生参画運営センター

### 【活動場所】

京都府宮津市

### 【活動目的・背景】

宮津市内で地域の子供活動に取り組むクラブや公民館から、「長期的に交流できるボランティア学生を探している」という情報が本学教員を通じて入ったため、地域の方々と相談しながら、「学生と遊んで楽しかった」というだけでなく、子供たちが「新しく知ること、学ぶことが楽しい」と実感できるような交流を実践しています。

### 【取組概要】

夏休み、冬休み、春休みをメインに、宮津市の吉津地区、養老地区を訪問し、人間知恵の輪やシャボン玉づくり、門松作りなどを子供たちと一緒に楽しんでいます。門松作りでは、「なぜ門松を飾るのか」や「おせち料理の意味」などについて学生が紙芝居を作って発表したり、交流後には、一人ひとりに手紙と写真を送って次回の交流につながるようになっています。

### 【成果・今後の課題】

参加している学生の多くが、将来は小学校や幼稚園の先生を目指しており、交流を通じて子供たちの様々な側面を直接感じ取ることができるとともに、地域の方々が子供たちの成長を見守り、支援することの大切さを学ぶことができる大変貴重な機会になっています。こうした交流を長く続けながら、多様な子育て、教育のあり方を学んでいきたいと考えています。



### 【本取組に関するお問合せ先】

学生参画運営センター

Tel : 075-551-1188 (代)

Fax : 075-551-1620

E-mail : [soumu@kyotokacho-u.ac.jp](mailto:soumu@kyotokacho-u.ac.jp)

